

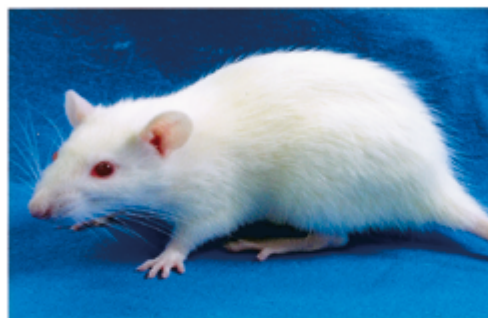
# 関節炎誘発モデル/ラット

# LEW/SsNSIc ラット

## LEW/SsNSIc

### 由来

Lewisラットは、Wistar研究所のKing Albinoと呼称されていたWistar系ラットに由来する。当社では本ラットを1994年に米国NIHから導入し、以後生産・供給を行っている。



### 毛色

アルビノ (a, c, h)

### 遺伝的プロファイル

RT1. A: /

### 特徴・用途

アジュバント関節炎、Ⅱ型コラーゲン関節炎モデルに使用  
臓器移植に使用  
遺伝的に均一  
各種実験的疾患モデルに数多く使用されている。

## アジュバント関節炎モデルを用いた薬効試験

### 使用動物

系統: LEW/SsNSIc ラット  
性別: 雄  
匹数: 35匹(うち30匹に感作)  
感作週齢: 7週齢  
固形飼料: ラボMRストック(日本農産工業)

### アジュバント

Mycobacterium tuberculosis H37Raに  
流動パラフィンを加えて、5mg/mLに調整

### 投与

右後肢臏に0.05ml投与

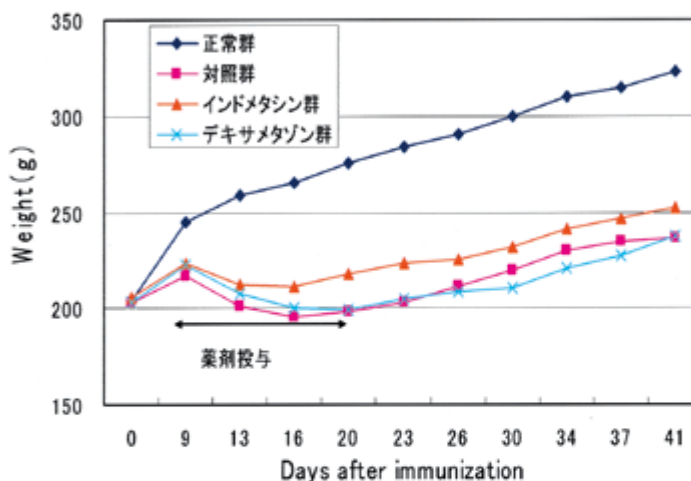
### 関節炎指数および容積

各データは左後肢の平均値を集計

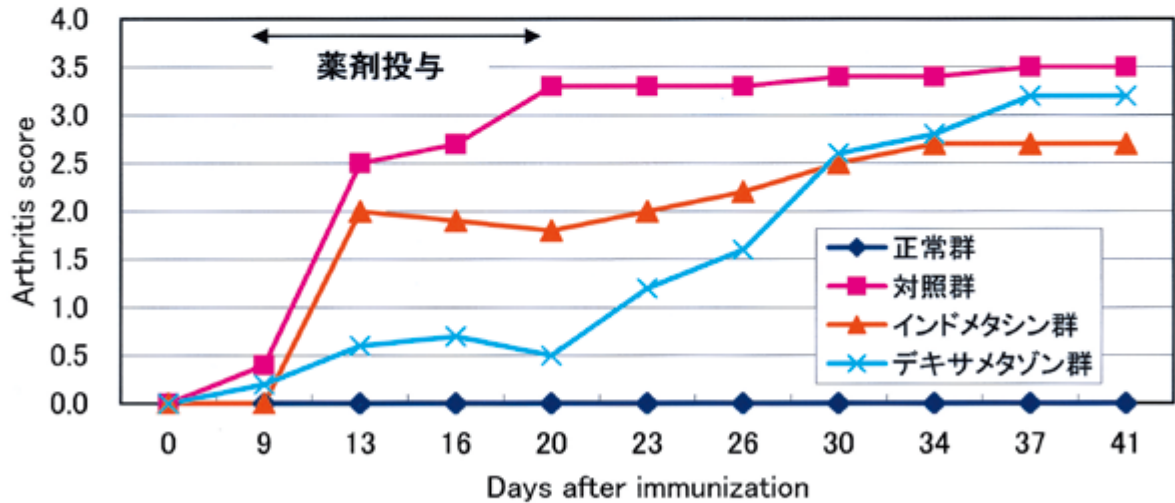
### 薬剤投与

インドメタシンおよびデキサメタゾンを注射用水を用いて1および0.3mg/kgに調製し、感作9日後から20日後まで11日間強制経口投与した。

### 体重



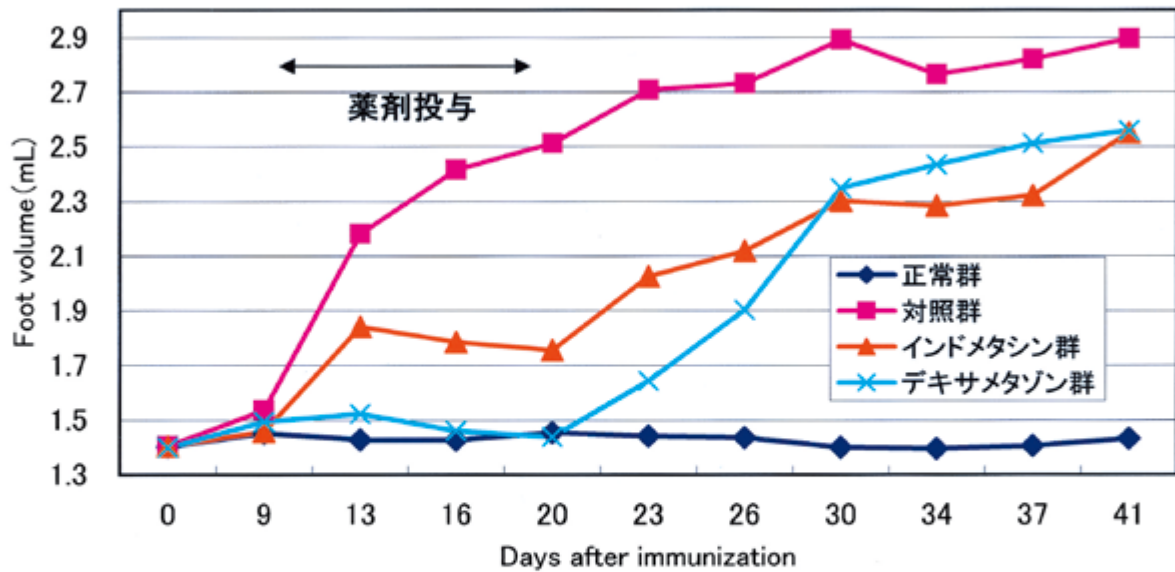
## 関節炎指数



〈関節炎発症の基準〉

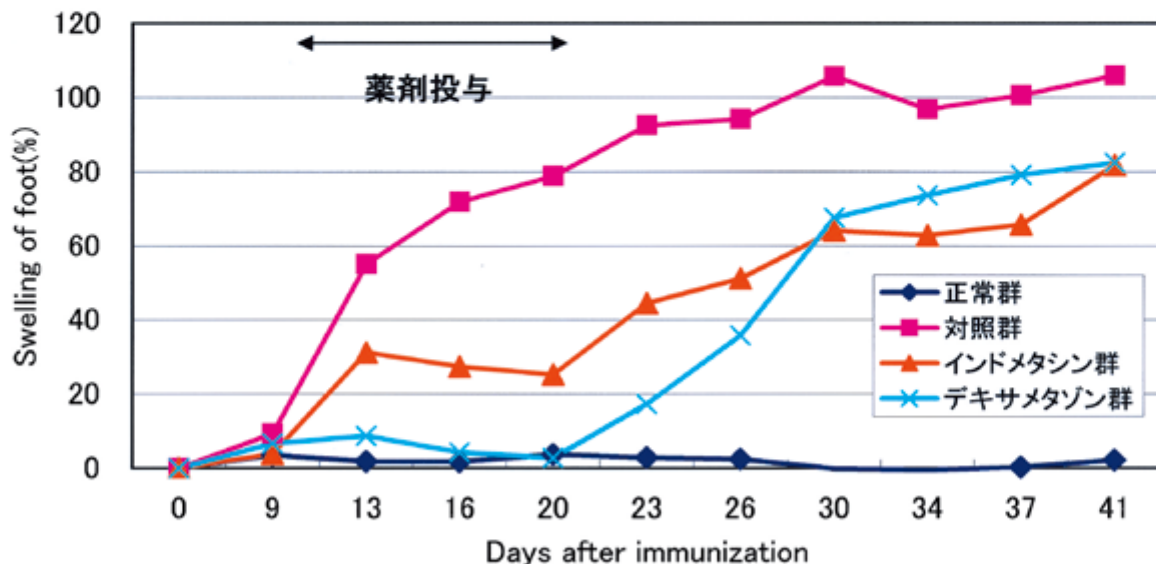
4段階の評点化 (0:変化なし 1:足指の腫脹 2:足指および足裏の腫脹 3:足全体の腫脹 4:重度の腫脹) を行い、骨変性がみられた場合+1を加算して評価した。

## 後肢容積



測定機器：デジタルボリュームメーター (MK-500; 室町機械)

## 後肢浮腫率



浮腫率

(処置後の左後肢容積－処置前の左後肢容積)／処置前の左後肢容積×100

## アジュバント関節炎モデルの特徴

インドメタシンおよびデキサメタゾン投与により後肢容積、浮腫率の増加、関節炎指数を抑えております。関節リウマチにみられる重篤な関節腫脹、骨破壊等の慢性炎症が認められ抗炎症剤等の評価が可能。

(骨膜炎、骨破壊、骨及び軟骨組織、関節滑膜の評価に用いることができる。)